

# 交通事故対策により事故が減少しました。 ～国道4号 荒町交差点事故対策による効果～

荒町交差点で平成20年12月に実施した交通事故対策について、整備効果がまとまりましたのでお知らせします。

## 【事故対策①】

車線ごとの行き先が分かりやすいように「案内標識」と「カラーレーン」を設置しました。これにより交差点付近の交通事故が減少しました。また、対策についてアンケートした結果、利用者の皆様から高い評価を得ました。

## 【事故対策②】

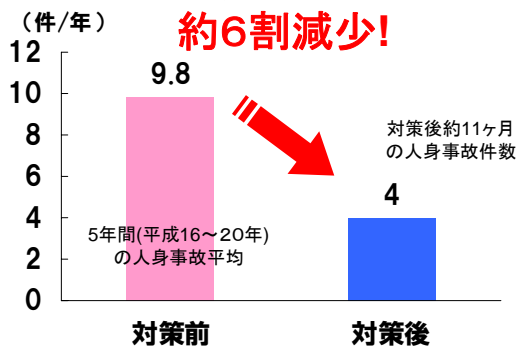
どうりゅうじま うせつ ゆうどうせん

歩行者を守るため「導流島」と「右折誘導線」を設置しました。これにより横断歩道上の交通事故が減少しました。

### 【事故対策①】



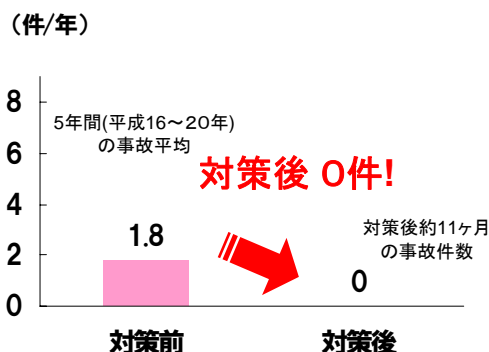
カラーレーン設置区間の人身事故



### 【事故対策②】



右折車との事故



※ 発表記者会：県政記者会・東北電力記者会・東北専門紙記者会

問合せ先

国土交通省 仙台河川国道事務所 交通対策課長 大泉 隆是

電話：022-248-4131(内線 471)

# 事故対策結果①の詳細：案内標識とカラーレーンの設置

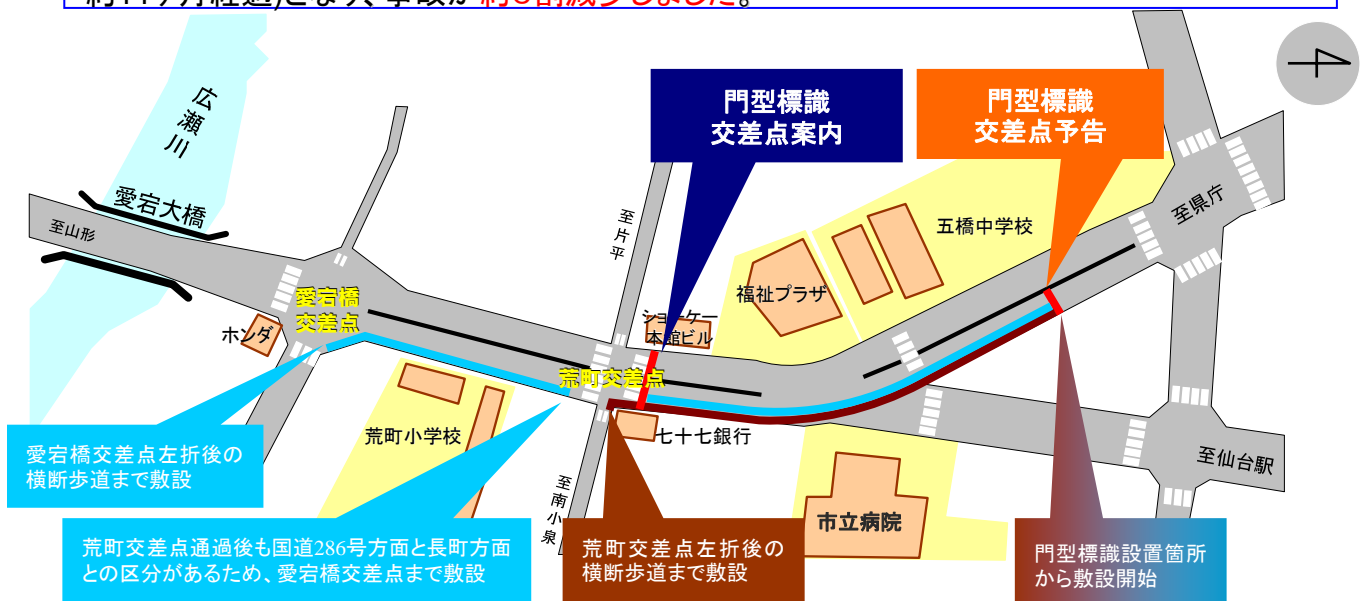
車線ごとの行き先がわかりやすいように「案内標識」と「カラーレーン」を設置し事故が約6割減少しました。

## (事故の発生原因)

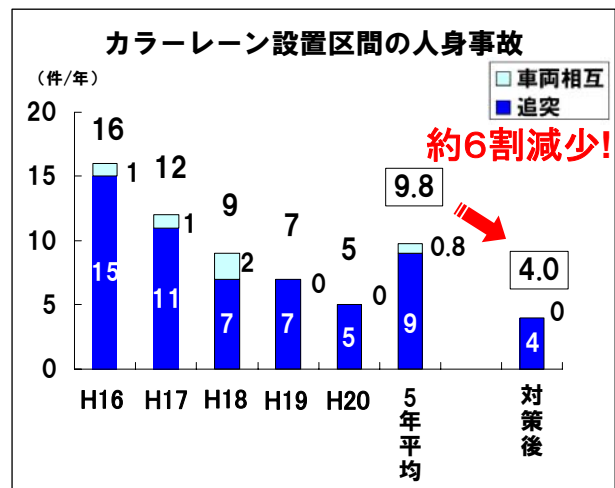
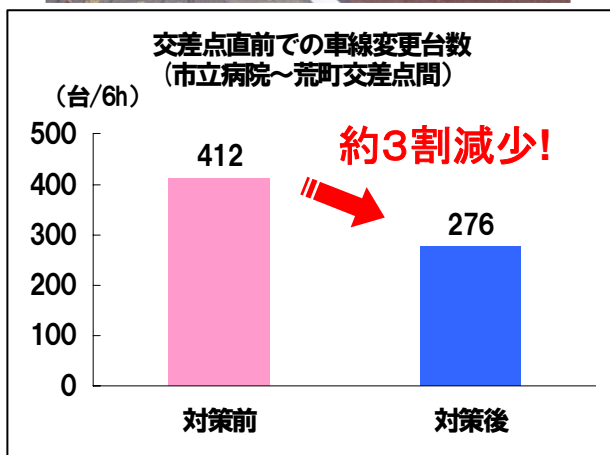
荒町交差点は、若林区役所方面と長町方面に向かう主要な分岐点となっており、また、前後には仙台駅より合流する市立病院前の交差点と河原町方面と山形方面に分岐する愛宕橋交差点が接近し、走行する車線が多くわかりにくい区間となっております。そのため、行き先の車線がわからずに急な進路変更や追突事故が多発していました。

## (対策後の効果)

カラーレーン設置区間の追突、接触事故の発生件数が、整備前の平均的な年間事故発生件数である9.8件/年(平成16～20年の過去5年で49件発生)から、対策後は4件(対策後約11ヶ月経過)となり、事故が約6割減少しました。



カラーレーン(写真左)は、若林区役所方面がベンガラ色、長町方面を水色で着色。同時に同色の案内標識も設置(写真上)

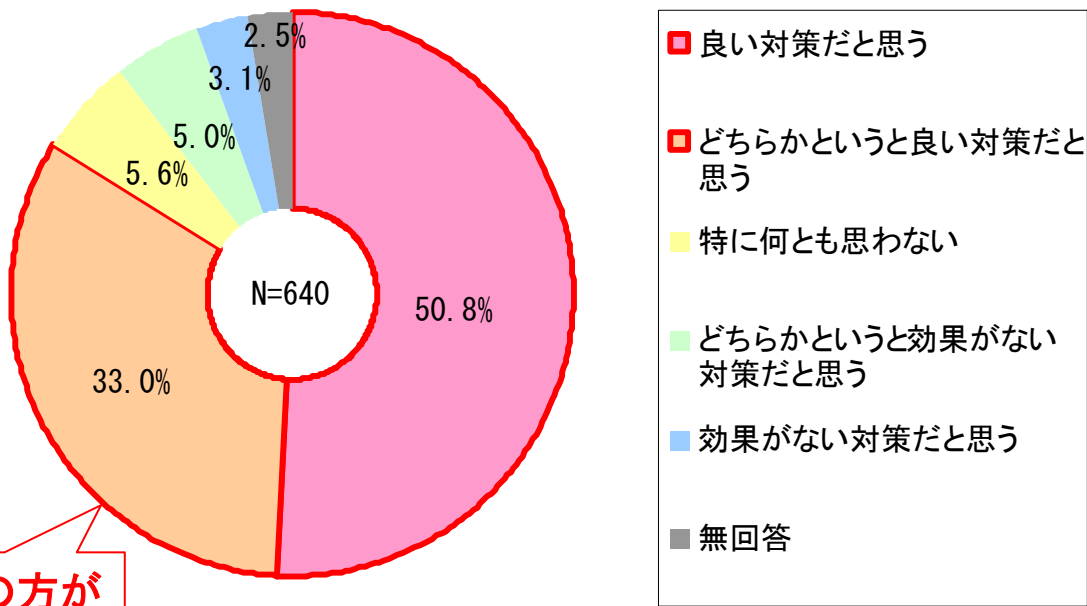


※[件数] 平成20年は平成20年1月～平成20年11月の11ヵ月間  
対策後は平成20年12月～平成21年10月の11ヵ月間

カラーレーンと併せた案内標識の設置効果は、通行した方々から高評価を得ました。

対策の実施後に、アンケート調査を実施し、以下のような回答を得ました。  
 今回の事故対策を「良い対策だと思う」「どちらかといえば良い対策だと思う」とした割合が、全体の約8割と、高い評価を得ました。

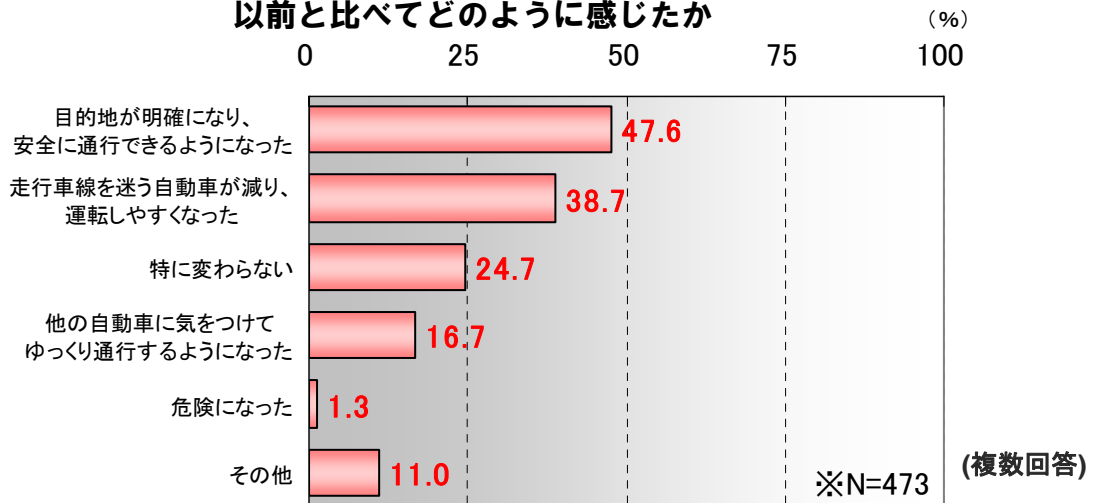
今回の事故対策についてどう思うか



約8割の方が高評価！

対策後の交差点を通行したドライバーから「目的地が明確になり、安全に通行できるようになった」の回答47.6%、「運転しやすくなった」の回答38.7%を確認し、利用者が安全性・走行性の向上を実感していることが確認できました。

以前と比べてどのように感じたか



## 事故対策②結果の詳細：導流島と右折誘導線の設置

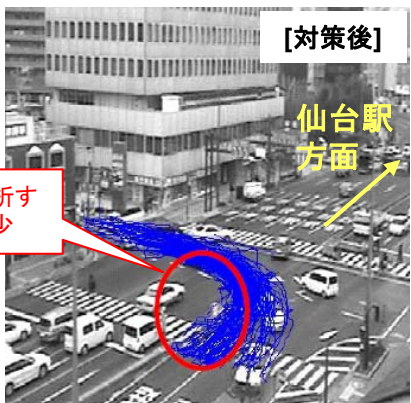
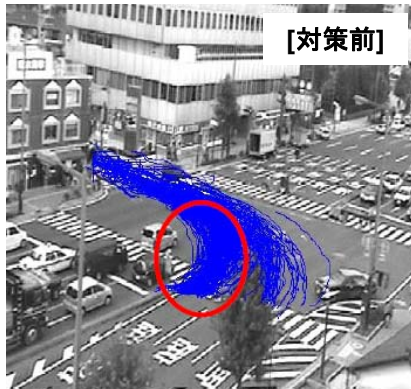
歩行者を守る「導流島」と車両の「右折誘導線」を設置したことにより、右折車と横断歩道上の衝突事故が減りました。

### (事故の発生原因)

「片平」方向からの右折車両は、対向する直進車両が無い場合、安易に右折しがちです。また、交差点が広くて右折する距離も長く、最短距離で右折するために横断歩道に対して鋭角で曲がってしまいます。このため、横断する歩行者の見落としや車両の走行速度が速いことが事故原因と考えられました。

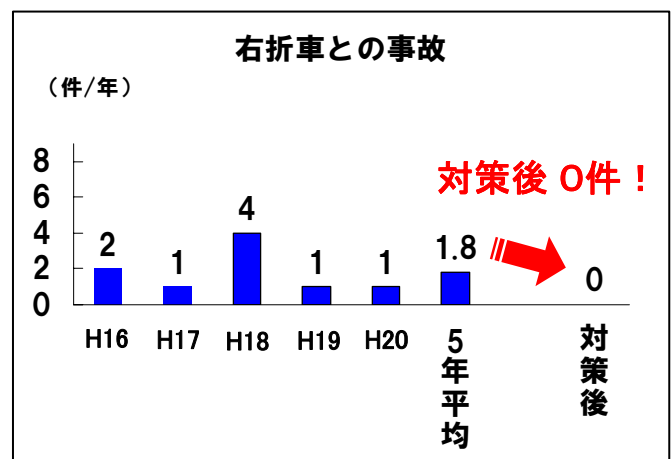
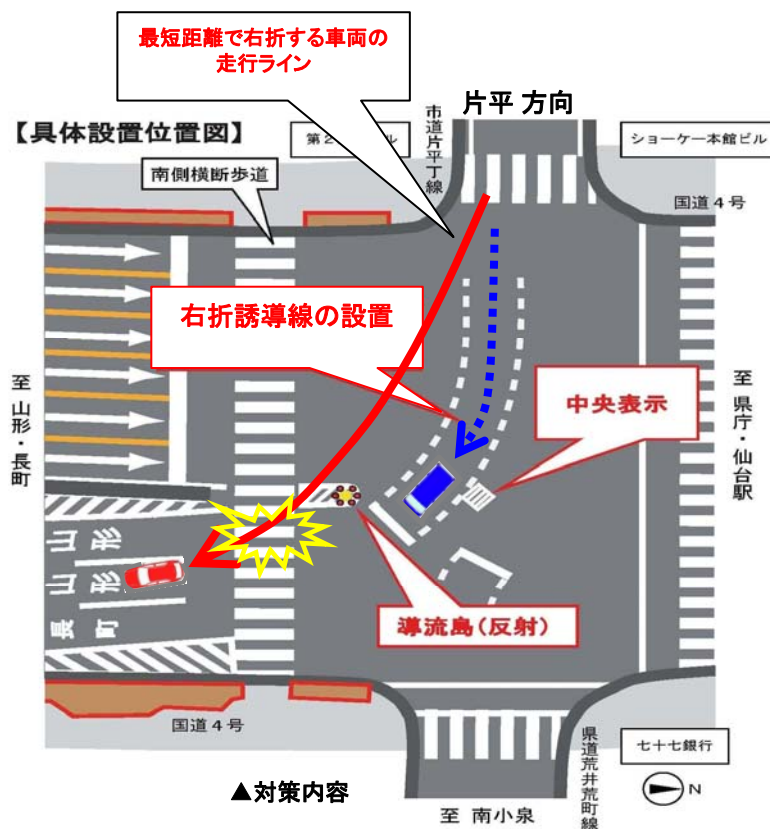
### (対策後の効果)

横断歩道での整備前の平均的な年間事故発生件数である1.8件/年(平成16～20年の過去5年で9件発生)が**対策後は0件**(対策後約11ヶ月経過)になりました。



最短距離で右折する車両が減少

右折する車両の走行軌跡図



※[件数] 平成20年は平成20年1月～平成20年11月の11ヵ月間  
対策後は平成20年12月～平成21年10月の11ヵ月間